

## 山縣記念財団からのお知らせ

当財団は、1940年（昭和15年）6月3日、辰馬汽船（のちに新日本汽船、山下新日本汽船、ナビックス・ラインそして商船三井となる）の社長であった山縣勝見によって、「財団法人 辰馬海事記念財団」として設立されました。その後呼称変更により、辰馬海事文化研究所、海事文化研究所そして1964年（昭和39年）「山縣記念財団」となりました。そして、「新公益法人制度改革」の施策の中で、2012年（平成24年）4月1日からは、内閣府から認可を受け、「一般財団法人山縣記念財団」として、新たなスタートを切っております。現在、わが国の海事交通文化の発展に貢献するために、次の3つの事業を柱として、活動しております。

1. 学術研究誌『海事交通研究』（年報）及び海事交通文化の研究及び普及発展に資する出版物の刊行と関係先への送付
2. 海事交通文化の研究及び普及発展に貢献された方々への「山縣勝見賞」（著作賞、論文賞、功労賞、特別賞）の授与
3. 海事交通文化の研究及び普及発展に貢献する事業への助成・協力

つきましては、これら3つの事業について、2015年度分を公募することになりましたので、次ページ以降をご参照の上、応募をお待ちしております。

いずれにつきましても、申請書などの送付先、問合せ先は下記の通りです。  
(申請書のエクセル／ワード・データが必要な方は、メールにてご連絡下さい。)

### 【申請書などの送付先、問合せ先】

一般財団法人 山縣記念財団

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-10-3 正和ビル5F

TEL：03-3552-6310 FAX：03-3552-6311

E-mail: zaidan@yamagata.email.ne.jp

ホームページ：http://www.ymf.or.jp/

## 1. 『海事交通研究』（年報）第64集への掲載論文募集のご案内

当財団は、学術研究誌『海事交通研究』（年報）を1965年（昭和40年）11月に創刊し、海運とその周辺分野に関する最新の研究成果を発表して参りました。

2015年11月発行予定の第64集につきましても、以下要領にて掲載論文の募集を致しますので、奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海運、物流、港湾、造船、海上保険及びその周辺分野をテーマとする論文  
テーマは、(1)執筆者の希望する「自由テーマ」或いは、(2)下記「指定テーマ」でも結構です。  
(1)自由テーマ  
(2)今号での指定テーマ：  
①災害時の船舶利用  
②海事産業における女性の活躍の推進
2. 応募原稿 : 未発表のもので、原則日本語としますが、相談に応じます。共著も可。
3. 執筆原稿枚数 : A4版縦置き横書き（40字×40行）で10枚（厳守）を限度とします。（目次・図表・注等を含みます。）
4. 原稿提出方法 : メールに原稿を添付して送るか、CD等記録媒体をお送り下さい。
5. 応募・審査手順：
  - (1) 以下につき、ご了承の上、投稿をお願いします。
    - ①二重投稿並びに既発表論文、又はそれに類似した論文の投稿は不可。
    - ②著書や新聞等の文献から引用した場合及び発想を転用した場合は、出典（著者名・タイトル・発行所名・発行年月等）を明記する。ただし、ホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記する。
  - (2) 論文執筆の申請をされる方は「年報掲載論文執筆申請書」（以下「申請書」という）を2015年2月2日（月）～3月31日（火）（当日の消印有効）の間に、メール・郵便又はFAXによりお送り下さい。（本誌巻末の「申請書」書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。申請書のWordフォームがお入用の方はご連絡下さい。）
  - (3) 当財団の「年報掲載作品編集委員会」が提出された申請書を審査し、年報掲載論文の執筆をお願いするかどうかを4月末までにご連絡致します。
  - (4) 論文提出期限は2015年8月31日（月）とします。
  - (5) 執筆頂いた論文の年報への掲載については、編集委員会の審議を経て10月中旬頃最終決定致します。

6. 原稿料 : 年報に掲載された論文については、当財団所定の料率にて原稿料をお支払いします。

7. 年報掲載論文執筆申請書／論文の提出先・問合せ先：本誌p.●●をご覧ください。

以 上

## 2. 「2015年山縣勝見賞」 募集のご案内

当財団は、2008年（平成20年）に設立者の名前を冠した「山縣勝見賞」を創設し、国民生活に重要な役割を果たしている海運を中心とする海事交通文化の研究及び普及発展に貢献された方々を顕彰し、その研究成果を対象として表彰する制度を発足しましたが、この度も「2015年山縣勝見賞」への応募を以下の通り受け付けます。

尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

又、前回の「2014年山縣勝見賞」につきましては、本誌 p.●●に掲載しておりますので、ご覧下さい。

・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海運、物流、港湾、造船、海上保険及びその周辺分野をテーマとする著作（共著も可）、論文並びに業績
2. 募集開始日 : 2015年1月7日（水）
3. 応募締切日 : 2015年3月31日（火）（当日の消印有効）
4. 賞の種類及び対象 :
  - ① 著作賞 海事関係の単著又は共著で、2012年1月1日から2014年12月31日までの間に発表されたもの。（30万円）
  - ② 論文賞 海事関係論文で、上記と同期間に発表されたもの。（20万円）
  - ③ 功労賞 海事交通文化の発展に顕著な業績のあった個人。（20万円）特にその業績の対象期間は問わない。
  - ④ 特別賞 上記三賞に匹敵する功績が認められる個人又は法人並びにその事業（賞金額は、都度理事会にて決定）

尚、既に他の学会又は団体などから受賞している場合でも受賞の資格を有するものとします。

5. 応募手続：応募は、個人・団体の推薦又は自薦によるものとします。  
応募者は、当財団宛所定の推薦/申請書（本誌巻末の書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。申請書のExcelフォームがお入用の方はご連絡下さい。）に推薦/申請理由書並びに当該著書・論文コピーを1部添付の上提出して下さい。  
（著書は後日返却します。）  
推薦/申請書・著書/論文コピー郵送先は、本誌 p.●●をご覧下さい。

6. 受賞者の発表：受賞者の氏名等は、2015年6月上旬までに当財団のホームページ、その他海事関連のメディアを通じて発表します。

尚、受賞者への贈呈式は7月20日の「海の日」の前後に行います。

以 上

### 3. 2015年度支援・助成申込のご案内

当財団は、海事交通文化の研究及び普及発展に貢献する事業への支援・助成活動を行って参りましたが、2015年度につきましても以下の通り募集致しますので、ご応募下さい。尚、本件に関する最新情報については、当財団ホームページでご確認下さい。

・・・・・・・・募集要領・・・・・・・・

1. 募集対象分野 : 海事交通文化の調査研究、その他海事の発展に貢献し、または貢献しようとする事業への支援・助成
2. 募集開始日 : 2015年1月12日(月)
3. 応募締切日 : 2015年2月27日(金)(当日の消印有効)
4. 申請条件 :
  - (1) 2015年4月から2016年3月までに実施する事業であること
  - (2) 収益を目的とする事業は対象とせず、海事交通文化の振興又は調査研究に関連する事業であること
  - (3) 既に実施している事業で、その実績が一定の評価を得ているもの、又はこれから実施しようとする事業の場合は、当該事業を実施するための実態的な人材・知見が整い、事業目的が明確に示されていること
  - (4) 本助成金を利用して活動した後、本助成金の使途に関する事後報告を速やかに行うこと
5. 申請手続 : 応募者は、当財団宛所定の申請書(本誌巻末の書式を切取線から切り取り、ご使用下さい。申請書のWordフォームがお入用の方はご連絡下さい。又はこれに代え、募金趣意書などを提出して下さい。)  
申請書提出先は、本誌 p.●●をご覧ください。
6. 審査結果の連絡 : 助成審査委員会(2015年3月上旬開催予定)により審査し、理事会(2015年3月下旬開催予定)に答申。結果は、4月上旬までに申請者宛連絡します。

以上

## 「2014年山縣勝見賞」の結果報告

「2014年山縣勝見賞」の受賞者は次の通り決定し、2014年7月24日、海運クラブ（東京・平河町）にて贈呈式が行われました。受賞者、及び受賞内容につきましては以下の通りです。

尚、「2015年山縣勝見賞」の募集要領については本誌 p.●●に掲載しておりますので、奮ってご応募下さい。

### 記

#### ・ 著作賞

武城正長氏著『便宜置籍船と国家』

（大阪商業大学比較地域研究所研究叢書第13巻、御茶の水書房、2013年3月発行）

受賞者略歴

1942年生まれ。東京商船大学航海科卒業、同専攻科修了、

広島大学政経学部卒業。

山下新日本汽船（株）、広島商船高等専門学校教授、

大阪商業大学総合経営学部教授などを歴任。

受賞理由

本書は便宜置籍船の定義やギリシャ・アメリカやヨーロッパにおけるその形成・発展経緯について整理し、その意味や現代社会への影響について、多くの資料を元に考察した著者渾身の一冊であり、研究者のみならず海運実務者や現代の海運社会・国際政治・法規に関心のある全ての人に勧めたい好著であることが認められる。

#### ・ 功労賞

宮下國生氏

受賞者略歴

1943年生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了。

神戸大学経営学部教授、流通科学大学商学部教授、大阪産業大学経営学部教授などを歴任し、現在、関西外国語大学外国語学部教授、神戸大学名誉教授。

受賞理由

長年に亘り、我が国の海運・物流・港湾に関する学術研究に尽力され、また、学会においては日本海運経済学会及び日本交通学会の会長を務めて多くの後進を育てた。

数多くの著書や論文を発表し、住田海事奨励賞、日本交通学会賞、日本海運経済学会賞、船員労働委員会功績に対する運輸大臣表彰、日経・経済図書文化賞並びに藍綬褒章を受賞し、わが国の学界並びに海事行政に多大な貢献をなした。

・特別賞

一般社団法人日本船長協会「子供達に海と船を語る（船長、母校に帰る）」事業

受賞団体概要

1950年に発足した、船長の経歴を有する者を会員（2003年に日本航海士会を併合し、航海士も会員として構成している）とする団体である。同協会では職務に関連する諸問題の調査研究、会誌・図書の発行を行い、海運ならびに海事に関する情報発信、会員相互の親睦と福利増進、社会的地位の向上を図り、その発展に貢献している。今回受賞の対象となった「子供達に海と船を語る（船長、母校に帰る）」事業は、将来の海運の発展を見据え、子供達への海事思想の普及を目的としたプロジェクトである。

受賞理由

船長が自らの母校や依頼のあった学校（小・中・高）を訪れ、児童や生徒に海や船について講演するとともに、関連のビデオ放映、質疑応答などを行い、将来を担う子供達に海や船を少しでも知ってもらうことを目的とした本プロジェクトは、2000年、本協会の創立50周年記念事業として開始され、2013年12月までに全47都道府県を回り終え、訪問した学校は130校、児童・生徒数は2万1千人を超えた。子供達の感想文や訪問校の地元新聞記事などを見ても、毎回大きな反響を得、青少年に対する海事交通文化振興に大いに役立っていることが伺える。本活動が一区切りを迎えた機にこれを表彰し、今後の益々の活動の発展を期待する。

・特別賞

竹田いさみ氏著『世界史をつくった海賊』並びに『世界を動かす海賊』

（ちくま新書 2011年2月及び2013年5月発行）

受賞者略歴

1952年生まれ。上智大学大学院国際関係論専攻修了。

シドニー大学およびロンドン大学留学。国際関係史で博士号（歴史学）取得。

専攻は国際政治（海洋安全保障論）。

現在、獨協大学外国語学部教授。

受賞理由

現代の海運・物流にとって大きな脅威になっている「海賊」が、近代社会成立・発展の過程で英国などの覇権国家誕生の原動力になり、国際貿易・金融、多国籍企業といった現代に通じるシステムの成り立ちに深く関与していた経緯を述べるとともに、現代社会の中での「海賊」の実態と具体的な対処方法について、現地調査を通して明らかにしている。また、海運と国際物流の重要性について業界や海事団体の紹介も交えて伝えるとともに、海賊の成立経緯、ソマリア社会の実情、国際社会及び日本政府の対応、更には、民間武装ガードなどの撃退方法や今後のソマリアでの天然ガス開発に際しての国際協力などにも言及し、今後の「海賊」問題の解決に向けての処方箋を示していることを評価するとともに、海事交通文化の振興に寄与した著作として顕彰したい。

なお、論文賞については今回は「該当なし」とします。



2014年山縣勝見賞贈呈式における記念撮影 2014年7月24日  
於海運クラブ  
左から竹田いさみ氏（特別賞）、大森彰氏（特別賞・（一社）日本船長協会 常務理事）、小島茂氏（特別賞・（一社）日本船長協会 会長）、宮下國生氏（功労賞）、武城正長氏（著作賞）



2015年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

## 年報掲載論文執筆申請書

下記の内容にて学術刊行誌『海事交通研究』（年報）2015年第64集に寄稿し  
たく、申請致します。

### 記

1. 執筆者氏名
2. 所属
3. 住所・電話/ FAX番号・E-mail

〒 -

TEL: ( ) - FAX: ( ) -

E-mail: @

4. 執筆希望論題
5. 執筆の趣旨・概要（300字～500字程度）

以上



# 山縣勝見賞推薦／申請書

(推薦／申請年月日) 2015年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

賞の種類		①著作賞 ②論文賞 ③功労賞 ④特別賞 (該当分に○をつけて下さい。)	
受賞対象内容	a. 著作(書籍) 又は論文名		
	b. 掲載誌・号数 (論文の場合)		
	c. 発行者  (フリガナ)		d. 発行／発表年月 年 月
	e-1 氏名 (著作・論文の場合、著者)		f-1 勤務先(役職)又は職業その他
	e-2 氏名 (著作で、共著者がいる場合)		f-2 勤務先(役職)又は職業その他
	e-3 氏名 (著作で、共著者がいる場合)		f-3 勤務先(役職)又は職業その他
	推薦/申請理由	(別紙又は裏面に記載してください。)	

記載箇所：①はb以外全て、②は全て、③はe,f、④はe,fに加え、対象としたい事項をaに記載

添付物：1. 推薦／申請理由書

2. 推薦／申請著作(書籍)／論文写、他参考資料

上記の通り、山縣勝見賞受賞者を推薦／申請します。

(※推薦／申請(=自薦)のどちらかに○印を付けて下さい。)

氏名 (団体の場合は、団体名・役職・個人名)

住所 〒 -

電話番号 ( ) -

メールアドレス @

勤務先(役職)又は職業

(選考委員会使用欄)



2015年 月 日

一般財団法人 山縣記念財団  
理事長 小林 一夫殿

(申請者住所・氏名(団体名・代表者名))

印

## 補助金助成申請書

下記の通り、海事交通文化の調査研究、その他海事の発展に貢献し、または貢献しようとする事業への支援・助成を申請致します。

### 記

1. 補助金助成を申請する事業名
2. 補助金の申請額 円
3. 事業の目的・申請理由(出来るだけ詳細に記述して下さい。)

